



基山っ子

令和元年10月23日(水)

基山小学校だより No.14

校長 江口 陽子

学びたしかに 心ゆたかに 体たくましく

4月に文部科学省による6年生の全国学力・学習状況調査を実施しました。これは、全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果をもとに、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上についての対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 教科に関する調査結果

1 国語

(1) 結果

本校の国語全体の平均正答数は、県・全国平均正答数を上回っています。どの内容領域も県・全国平均を上回っています。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、県・全国平均を大きく上回っています。

全国及び県正答数との比較

	【国語】14問中
基山小	9.7
佐賀県	9.0
全国	8.9

(2) 成果と課題

話すこと・聞くこと

・「目的に応じて、質問を工夫する」ことが全国平均を上回っていました。

書くこと

・「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える」ことが全国平均を上回っていました。

読むこと

・全国平均とほぼ同じでした。

言語事項

・「漢字を文の中で正しく使う」ことが全国平均を上回っていました。

2 算数

(1) 結果

算数全体の平均正答数は、県・全国平均正答数をわずかに下回りました。「図形」の領域は、県・全国平均をわずかに上回っていましたが、「数と計算」「量と測定」「数量関係」は、県・全国平均を下回っていました。「数学的な考え方」は、全国平均と同じでした。

全国及び県正答数との比較

	【算数】14問中
基山小	9.1
佐賀県	9.2
全国	9.3

(2) 成果と課題

数と計算

・「示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる」ことが全国平均を上回っていました。「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」や「示された除法の式の意味を理解している」ことが全国平均を下回っていました。

量と測定

・「示された図形の面積の求め方を理解し、その求め方の説明を記述できる」ことが全国平均を下回っていました。

図形

・ほぼ全国平均と同じでした。

数量関係

・「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」ことや「示された除法の式の意味を理解している」ことが、全国平均を下回っていました。

■ 意識調査に関する結果

意識調査で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が、全国と比べて特に大きく差があった項目を挙げてみると以下ようになりました。

1 意識が高かった項目

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館に、週1～3回程度以上行くと答えた児童 26.5%（全国 17.2%）
- 今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童 72.6%（全国 68%）
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。 59.3%（全国 54.5%）

2 意識が低かった項目

- △家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。 68.1%（全国 77.4%）
- △将来の夢や目標をもっていますか。 73.5%（全国 83.8%）
- △家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 61.1%（全国 71.5%）
- △学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、勉強をしていると答えた児童（学習塾・家庭教師による学習時間を含む） 11.5%（全国 29.3%）
- △学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。 62%（全国 74.1%）
- △5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。 52.2%（全国 62.5%）
- △国語の授業の内容はよくわかりますか。 77%（全国 84.9%）

■ 学力向上のための取組

【学校では】

- ・今後も、朝の時間に定期的に漢字テストを実施し、漢字の定着を図っていきます。（国語）
- ・児童の基礎学力定着のため、朝の時間に行っているスキルタイムの内容や質を充実させ継続して取り組みます。（算数）
- ・「書く活動」を授業に位置づけ、自分の考えを持つ場を設定します。その際、文字数やキーワードなど必要な条件や具体的な書き方を提示して書く活動に取り組みます。（各教科共通）
- ・「話し合う活動」を授業に位置付けます。少人数で話し合う場を設定したり、話し合いの視点を明確にしたり、工夫しながら話し合う活動に取り組みます。（各教科共通）

【家庭では】

- ・漢字の書き取りを宿題として出しています。宿題忘れがないように、毎日こつこつと取り組ませ、家庭学習習慣の定着を図ってください。
- ・計算ドリルやプリントなどを宿題として出しています。お子様の計算が素早く正確にできているか、確認をしてください。
- ・各学年の学習目標時間を設定しています。
1年（20分）2年（30分）3年（40分）4年（50分）5年（60分）6年（70分）
上記の時間をめやすに、一定の時間勉強する習慣が身に付くように声をかけてあげてください。
- ・読解力をつけるために、図書館の利用や「ファミリー読書」などの呼び掛けをもとに、親子で本を手にする時間を作り、家庭での読書習慣を身に付けるよう取り組んでください。
- ・家族で一日の出来事や興味・関心のある事柄などを語り合うことを通して、子どもの心の安定・成長が見られます。家族の対話の時間も大切です。